



今年も福岡高校ではスピーチコンテストや英語セミナー、講演会など英語に関するさまざまな活動を行いました。ここでは主に3学期の活動を振り返りたいと思います。

1・2年英語講演会



2月13日(土) 2年英語コースの生徒、1年の英語コースへの進級予定の生徒と希望者を対象に英語講演会が開かれました。今回は講演、ワークショップと2展開で行われました。

講演ではホクセイプロダクツ株式会社より綿 友里恵氏をお迎えし、「英語力」+「共感力」=ポストコロナを生きる最強の武器という題でお話をいただきました。

冒頭、綿さんが尊敬するというタレントの出川哲朗さんの動画を見て笑いながらも、言葉がわからなくても間違いを恐れないということが、コミュニケーションを図る上で一番大切なことだ、と再認識しました。また高校時代のオーストラリアでのホームステイ体験や大学時代の留学の話をしていただきました。生徒たちは興味深そうに海外生活のエピソードなどを聞いていました。最後は「語学は一つの武器であって、コミュニケーション能力がないとダメ、相手の立場に立って考えることができる人になってほしい」と締めくくられました。

もう一つは、本校勤務のALTである Loosine Yaghoobian 先生が「An Exploration of Languages and Cultures」と題し、ワークショップをしてくださいました。

10カ国語がわかる Loosine 先生が様々な言語で色や数字、簡単な挨拶を教えてください、またそれぞれの国の独特な生活習慣についても紹介してくださいました。最後はペルシャ語で自分の名前を書くなど、生徒たちは普段あまり触れることのない英語以外の言語に触れ、講演時間があっという間に過ぎていくように感じられました。



- 参加生徒の感想 -

1年女子

私は英語を間違えるのが恥ずかしくて人前で話すのが得意ではなかったけれど、失敗を恐れないという話を聞いて勇気づけられました。留学に興味があったので、体験談を聞き、ますます留学したくなった。行けるようになったときはたくさんの人と積極的に話したいです。

普段触れることができない言語を学ぶことができ、本当に楽しかったです。一見全く違うと思われる言語が実は派生した言語だと知って驚きました。言語を学んでいくにあたってその国の文化についての知識や理解を持つことが重要だと改めて思いました。

2年女子

Loosine 先生からのペルシャ語でのメッセージです。

دهد می گسترش را شما های فرصت و جهان جدید زبان یک یادگیری

英語訳

Learning a new language will expand your world and opportunities.

今年度を振り返って 各学年の取り組み

3学年

英語コースでは英語探究の授業で、お互いの意見を交換し合ったり、グループでまとめた意見をクラスで発表し、様々な意見を知ることができました。英語を聞いて、英語で考え、英語で発表するよい機会となりました。

2学期は生徒が国の大使となり、自国の問題を取り上げ、国連に援助をもとめる模擬国連を行いました。どんな差し迫った問題があるか、その問題解決のにはどうしたらよいか、費用はいくら必要かなど、パワーポイントを使って熱く訴えました。世界ではまだまだ貧困や民族紛争などで困窮している国がたくさんあることを再認識し、私たちは何ができるかと改めて考える機会となりました。



2 学年

2 年英語コースでは 3 学期の英語表現 IIA の授業で、“Debate”と“Discussion”を組み合わせた“Deba-scussion”に取り組みました。“Paper books”VS“Digital Books”や、“Cash”VS “Cashless”など、身近な話題を中心に議論し、英語で考え、英語で発信する力を養いました。また、話した内容についてさらに掘り下げて意見を書くことで、より具体的&論理的に書く力も伸ばしました。

1 学年

1 年生の ComB では、英語での発信力を高める活動を行ってきました。夏には Show and Tell を行いました。クラスの友だちの前で、自分の思い出の品について堂々と発表することで、英語を話すことに対する自信を持つことができました。3 学期には、TED を活用し、英語のリスニング力を高め、自分の意見を英語で述べる練習をしました。

今年度の英検結果

今年度は第 1 回、第 2 回の合格者は、2 級 3 8 名、準 2 級 5 3 名、第 3 回の 1 次合格者は準 1 級 1 名、2 級 7 名、準 2 級 5 1 名です。大学受験の際に英検等の取得が有利に働く場合もあるので、皆さん、来年度も是非積極的に挑戦してください。新 3 年生は第 1 回の英検で 2 級取得を目指しましょう。



ステイホームが言われ続ける今、2 つのことにチャレンジしてみませんか？

◆ 「多読」にチャレンジ

「多読」と呼ばれる英語学習方法を聞いたことがありますか。読んで字のごとく英語を多く読む学習方法です。でも「多く」と言っても一体どのくらいたくさん読めばいいのでしょうか。

ずばり「100 万語」これが「多読」の目標だと言われています。「そんなの多すぎる！」とってしまいますよね。100 万語読むには仮に 1 ページ 300 語の本を読むとすると合計で 3000 ページ以上も読まなくてははいけません。どうしてそんなに多く読まなくてはならないのでしょうか。多読には様々な効果がありますが、その一つは英語を日本語に訳さなくても理解できるようになることです。

かの夏目漱石も無茶苦茶に英語の本をたくさん読むのがいい、少しわからないことがあってもそこは飛ばしてどんどん読んでいくと最後にはわかるようになる、と言っています。

とはいってもやはり 100 万語読むのは大変！その目標を達成するためにはズバリ「楽しむこと」です。読んでいると時には面白くなかったり、自分には難しすぎると感じたりすることもあります。そんな時は読んでいる本を途中でストップする勇気も必要です。

- (1) 辞書は引かない (2) わからないところは飛ばす
(3) 読み進めるのが辛くなったらその本はやめる 多読の 3 原則です。



何を読めばいい？

おすすめはオックスフォードのブックワームシリーズ、ピアソンのペンギンリーダーズ などです。LL 教室などにもありますので、まずは手に取ってみましょう。

今年度から始まった大学入学共通テスト・リーディングでは、長文読解が中心となりました。従来のセンター試験の第 1 問や第 2 問にあたる、発音・アクセントや文法・語法の知識を直接問う問題は出題されなくなりましたが、だからといって語彙や文法の重要性が低くなったわけではありません。与えられた英文・イラスト・グラフなどから必要な情報・概要・意図などを把握する応用問題に対処するためには、確かな文法・語法の知識が基盤となります。また、問題の総語数も以前より増加しました。**約 1000 語から 2000 語増**のため、短時間で多くの情報を処理する能力が必要になります。早く読む訓練にも「多読」が大変有効です。

でも人と話がしたくなったら・・・

◆オンラインで英会話の無料レッスンにチャレンジ

みなさんには以前よりお知らせしてきたものですが、「DMM英会話」の無料利用もいよいよ今月末までとなりました。このサービスは経済産業省の企画で、富山県内では福岡高校生のみが無料で受けられます。是非この機会に英会話レッスンを受けてみましょう。

